

いなげの浜における利用者意識の分析

千葉工業大学生命環境科学科 学生員 ○野辺 裕太
 千葉工業大学生命環境科学専攻 学生員 遠藤 広悠
 千葉工業大学生命環境科学科 フェロー 矢内 栄二

1. はじめに

「いなげの浜」は、東京湾奥部に位置するレクリエーションを目的とした日本初の人工海浜である。昭和 60 年頃には年間約 90 万人の利用者があったが、近年では 20 万人まで減少している。そのため、いなげの浜を運営する千葉市は利用者増加のため利用者参加型のイベントの実施を考えている。

本研究では、いなげの浜の利用者にアンケート調査を実施して、利用者意識の分析と利用者の望むイベントを調査し、利用者の増加対策を検討することを目的とした。

2. 調査概要

調査海浜は、図-1 に示す千葉県千葉市に位置するいなげの浜である。調査期間は、2011 年 4 月～2011 年 12 月までの 9 カ月間とし、午後 1 時～午後 3 時に利用者へのアンケートを実施した。



図-1 いなげの浜

アンケート調査の必要検体数は、有限母集団の計算式(1)で求められる。年間利用者数は過去 10 年で最大の 30 万人とし、検体数は 30 万人の利用者に対する 95%の信頼率を考え、算出された目標回答者数は 384 人以上である。

$$n \geq \frac{N}{\left(\frac{e}{k}\right)^2 \frac{N-1}{P(1-P)} + 1} \quad (1)$$

アンケート調査の設問内容を表-1 に示す。設問内容は、年齢、性別、浜の利用状況、浜の印象、参加したいイベントなどの 16 項目とした。

表-1 アンケート設問

設問	アンケートの設問内容
1	あなたの性別を教えてください
2	あなたの年齢を教えてください
3	あなたは今日、誰と来ましたか
4	あなたは今日、どこから来ましたか
5	あなたは今日、どのような手段で来ましたか
6	今日、どのような目的で浜を利用していますか
7	あなたはどのくらいの頻度でいなげの浜を利用していますか
8	稲毛海浜公園内の施設でよく利用する施設はなんですか
9	いなげの浜のゴミについてどう思いますか
10	いなげの浜のゴミの清掃は誰がしなけ
11	ゴミを減らす手段として最適なのはつぎのどれだと思いますか
12	いなげの浜の良い印象はありますか
13	いなげの浜の悪い印象はありますか
14	いなげの浜を将来的にどのようにしたら良いと思いますか。
15	現在のいなげの浜をどう思いますか
16	将来的にいなげの浜でイベントを開催するとしたらどのようなイベントに参加したいですか

3. 結果と考察

3-1 いなげの浜の利用者層

表-2 に浜の利用者の構成を示す。いなげの浜の利用者は家族連れが 59%と過半数を占めており、利用者の中心となっている。その中でも 30 代が最も多く、次いで 40 代になっている。友達と来ていた利用者で最も多かった年代は 20 代で、次いで 10 代となっている。

表-2 利用者構成

年齢	家族	友達	一人	その他	合計
～19 歳	8	36	0	9	53
20 歳～29 歳	22	52	7	8	89
30 歳～39 歳	94	15	4	3	116
40 歳～49 歳	52	5	6	1	64
50 歳～59 歳	23	3	5	0	31
60 歳～	26	3	6	0	35
合計	225	114	28	21	

3-2 利用状況

浜の利用者構成から見た居住地を図-2に示す。
浜の利用者は、千葉市を含めた県内からの利用者が84%であるのに対して他県からの利用者は16%である。主に千葉市内からの利用者が多いのは、どの属性とも同様である。

3-3 浜の利用目的

図-3に浜の利用者構成別の利用目的を示す。海水浴や施設の利用については家族連れや友達に占められているのに対して、散歩や砂浜でのレクリエーションではすべての属性が利用している。

図-4に利用者が望む浜の将来像を示す。家族連れの利用者は浜の拡張と現状維持とに意見が分かれている。友達同士の場合では、「食事施設」や「海の家設置」、「イベントの開催」を望んでいる。一人での利用者は「浜の拡張」や「イベントの開催」を望んでいる。

3-4 利用者が望むイベント

いなげの浜の利用者は、利用者によって浜に望むものが異なっているが、どの属性においてもイベントの開催を望んでいる。千葉市もイベントの実施を考えていることから、利用者の望むイベントを調査した。その結果を図-5に示す。「その他」は回答率が5%以下の項目をまとめた。いなげの浜の利用者は「砂の彫刻」に関心を持っていることがわかる。

4. まとめ

いなげの浜の利用者は30代の家族連れが中心であるため、家族連れが参加しやすいようなイベントを実施することが利用者の増加に有効であると考えられる。

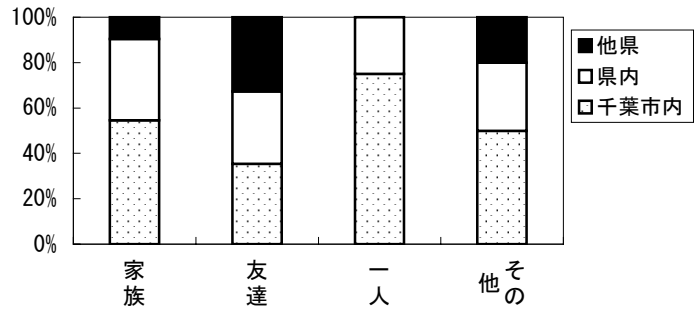


図-2 利用者属性別居住地

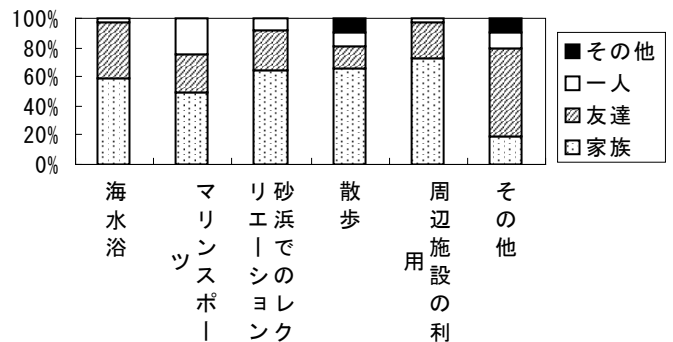


図-3 利用者構成別の利用目的

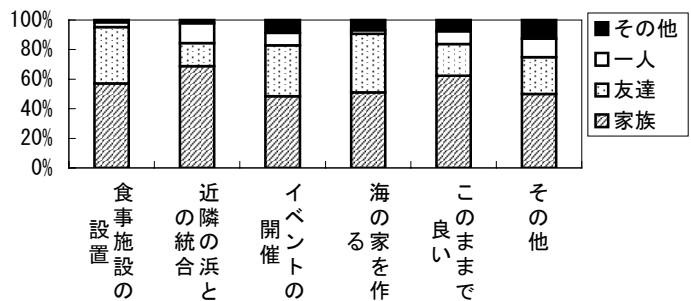


図-4 浜の将来像

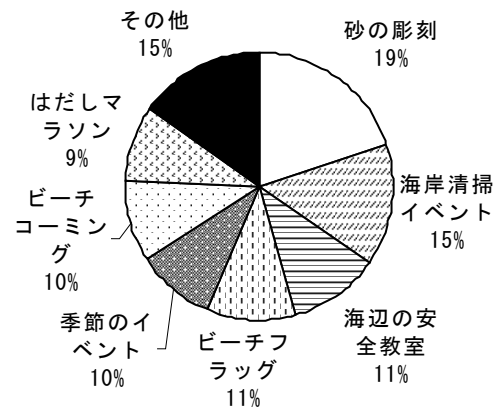


図-5 利用者が望むイベント

参考文献

- 1) 遠藤広悠・矢内栄二 (2011) : 人工海浜の利用者特性からみた付加価値の検討, 土木学会年次学術論文集 (CD-ROM), Vol.66. II・pp257-258
- 2) 安東大地・社田裕美・矢内栄二 (2008) : 人工海浜「いなげの浜」で望まれるイベントに関する意識調査, 土木学会年次学術講演会講演概要集 (CD-ROM), Vol.63.pp2-254
- 3) 矢内栄二・矢島秀二・並木勇輔 (2005) : 人工海浜の海岸ゴミに対する利用者意識の変化, 海洋開発論文集, 第21巻 pp205-210